

|           |  |  |
|-----------|--|--|
| 1         | 審議会名   | 真田地域協議会  |
| 2         | 日 時  | 平成26年11月19日(水) 午後7時00分から午後9時00分まで  |
| 3         | 会 場  | 真田地域自治センター3階 301会議室  |
| 4         | 出席者  | 一之瀬勤委員、小林史夫委員、小林満子委員、小宮山民夫委員、重野寛子委員<br>竹村昇吉委員、田中新平委員、長崎伊登子委員、長崎理恵子委員、中村泉委員、<br>縷沢剛史委員、藤澤繁美子委員、堀内朝子委員、堀内辰一委員、松井よし枝委員、<br>三井秀雄委員、宮下俊哉委員、村田眞理委員<br>【欠席委員】2名 |
| 5         | 市側出席者  | 高橋センター長、藤沢地域振興課長、山宮市民生活課長兼健康福祉課長<br>依田建設課長、佐藤上下水道課長、柳沢教育事務所長、柳沢真田消防署長<br>三浦都市計画課長、田中都市計画課長補佐、金井都市計画担当係長、細谷統括主査<br>飯島地域政策係長、西澤主査、伊藤主査                     |
| 6         | 公開・非公開等の別  | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開  |
| 7         | 傍聴者 1人   | 記者 0人  |
| 8         | 会議概要作成年月日  | 平成26年12月19日  |
| 協 議 事 項 等 |  |  |
| 1         | 開 会 (小林満子副会長)  |  |
| 2         | <p>会長あいさつ (三井会長)</p> <p>第8回の協議会の中で、前回まで真田丸ということでだいぶ協議してまいりました。その結果、各団体へということで、広報にも掲載していただいて、協力をしていただくということで、一つの形になったかと思っております。これからは、本来協議会が協議すべき地域のことについて集中していくのですが、都市計画、第二次の上田市総合計画の審議ということも入ってまいります。そういった中で効率よく進めたいということで、皆さんにもご意見をいただきたいと思っております。すなわち、それぞれのところを審議するのではなくて、同じような内容ならば一緒に審議するようなことも考えながら進めていけたらと思っております。皆さん、よろしくお願い致します。</p>   |  |
| 3         | <p>センター長あいさつ (高橋センター長)</p> <p>本日は協議事項が詰まっておりますので、一点だけ報告いたします。先日、11月8日、9日に姉妹都市である九度山町との都市交流事業に23名で行ってまいりました。昭和52年から旧真田町が姉妹都市の提携をしております、37年間、いいお付き合いをされてきたと思っております。今回、行ってみて、住民の皆さんも同じことを感じたと思っておりますが、九度山町長様はじめ幹部の皆さん、住民の皆さんが気持ちよくお迎えをいただいたということで、手厚いおもてなしを受けてまいりました。できれば、来年以降もこのような交流ができればと思っております。次回も公募等あると思っておりますので、協議会の皆様も是非行っていただければありがたいと思っております。</p>   |  |
| 4         | 協議事項 (三井会長 進行)   |  |
|           | <p>(1) 都市計画マスタープラン策定及び都市計画道路の見直しについて<br/>～三浦都市計画課長、田中都市計画課長補佐から説明～<br/>(会長) 皆さんから御意見を頂く前に、私から確認させていただきます。資料の中で今回の都市計画マスタープランの位置付けの記載があります。これは上田市総合計画からきているということだと思います。この都市計画マスタープランですが、総合計画の地域まちづくり方針ができて、それに基づいて作られていくというのが手順だと思いますが、先にこのマスタープランができていくということなんです。どちらかというと、総合計画ができて、われわれの地域まちづくり方針ができて、そういったものが活かされてマスタープランができてくるという手順がいいのかと感じます。それから、言葉として都市計画という言葉が、いわゆる地域づくり、まちづくりということと違って、どういう形で理解したらいいのかと思っております。</p> |  |

(三浦都市計画課長) 第二次上田市総合計画の策定を進めさせて頂いている最中ということで、会長さんからは、それができてからマスタープランを作ったほうがいいのではないかというお話かと思えます。現在、第一次総合計画の後期の総合計画が存在をしているということになります。その中にも、真田地域のまちづくり方針というものを述べていただいております。私どもとすると、第一次のほうでの地域まちづくり方針を基本に、まずは存在している計画に基づいてマスタープランの素案を作成させていただいたということでございます。平成19年当時も真田地域につきましては、真田地域協議会に計6回ほど地域別のまちづくり方針ということで協議をさせていただいております。

(会長) それが入っているということですね。

(三浦都市計画課長) それらを踏まえて、今回いれさせていただいております。当時は真田図書館建設の整備が入っていたりするのですが、現在の状況とすると、図書館などはできているものもありますので、そういうものは除かせていただいたりして、修正したという状況です。

(会長) 私の感じとしましては、非常に夢のある都市計画といわれるビジョン、そういったところから、将来どうするのか、現在の課題からではなくて、この地域をどうもっていくのかという夢から作っていくということで、私は魅力的に感じております。このことが地域の中で活かされていけばいいかということと、それからプランのところに課題がでてきていますが、行政側の方もいろいろ問題を捉えているということです。要は我々の動きと同期をとりながら行政のほうでもいろいろな課題、将来の構想というものも作られてきたということで、その点も踏まえて皆さんのほうから御意見をいただきたいと思えます。

(委員) コンパクトシティ構想というと、例えば青森のように人口を集積させることによって都市機能を維持していくという考え方だと思うのですが、すべての人を上田の中心市街地へ集積しようという考えとは違うものと理解してよろしいでしょうか。それと、真田地域の集落の中で空き家が結構あります。例えば、壊してしまうと雑種地になってしまい、固定資産税が高くなってしまいうということで、なかなか土地が利用されずにいる例や、住んでいた方の息子さんなどが近郊に家を建ててしまう例があります。既存集落を活性化させるという部分はどういうところに盛り込まれていると捉えたらよろしいでしょうか。

(三浦都市計画課長) 人口集積という中では、国の方でも人口減少ということで、かなり強く地方にも発信をしております。ある程度の人口の集積の規模がないと都市が持続するのが難しいということが言われています。春には地方消滅ということで、20代から30代の女性が、上田市の場合でも、20年後には4割近く減ってしまうのではないかという厳しい数字も出ております。ですから上田駅の中心にすべてを集めるということではなくて、真田地域にも拠点的なエリアを設けて、ある程度の人口集積を作っていかなければいけないと考えております。人口規模があることによって公益的な病院等が出来たり、スーパーなどの民間の施設も出来たり、維持も成り立つということでございます。地域によっては人口態様が違うかもしれませんが、そういうものをマスタープランの中にうたっております。市内にもいくつか拠点を作らせていただきたいと思いますということです。真田地域では盛んに議論いただいている公共交通の維持など、そういったものを行政としてきちんと支援をしていきながら、皆さんの足も確保していきたいということでネットワークという言い方をさせていただいております。空き家の関係については、秋ぐらいに新聞等にも数字がでましたが、長野県には非常に空き家の率が高いということで数字が出されたと思えます。いま上田市でも空き家バンクということで、検討を始めてきているところです。空き家を改築して住めれば一番いいと思えますが、そこに行くまでの道路ですとか、地域を維持させていくためには、非常に大事かと考えております。区域の指定ということについては、今後検討していくということですが、場合によってはそういうことも含めた中で、皆さんと議論をさせていただきたいと考えております。御意見をお出しいただければと思います。

(会長) 他に御意見いかがでしょうか。

・質問なし

## (2) 前回決定事項確認

～事務局から説明～

・質問なし

(3) 第9回地域協議会開催予定について

～事務局から説明～

・意見なし

【決定事項】案のとおり決定

(4) 今後のスケジュールについて

～事務局から説明～

(会長) 第二次総合計画の審議ということですが、非常に期間が短い中で審議しなければならないのですが、どのような内容で審議するのか、いまの時点で見えているのでしょうか。どの程度進んでいるのか。例えば、この地域に限られた内容で、ある程度案がでてくるのかどうか。

(事務局) 12月の協議会場で政策企画課から話があるのですが、現在、第一次総合計画の中で、地域まちづくり方針があります。その方針を中心に見直すという形でございます。いままでの地域まちづくり方針を、行政としての検証を行い、それを基に案を作り、案に対して委員の皆さんからご意見をいただくというような形での進め方になる予定で計画をしております。12月の事前説明の場ですが、見直しの方針、行政で行いました検証シート、素案の概要について、おおまかなものをご説明申し上げます。それから、諮問、答申のスケジュール等をご説明申し上げます。素案につきましては、1月の初旬に、委員の皆さんへ事前に郵送させていただいて、目を通していただいてから、1月21日の協議会から協議をしていただけるような体制にしていきたいと思います。

(会長) 先ほどの、地域まちづくり方針ということを決めていくということで、それが分科会でのテーマとうまく合致したとすると、分科会の中に分けて審議できれば、それも一つの方法かと思えます。その判断は今日の時点ではできませんが、次回のところで事前説明を聞いた中で、そんなことも検討の余地があるのかという気はしております。非常に短い中での第二次上田市総合計画の審議ということになりますので、そんな方法も検討していく必要があります。その他にご意見ありますでしょうか。

・意見なし

【決定事項】案のとおり決定

(5) 分科会の協議について

～事務局から説明～

・意見なし

【決定事項】案のとおり決定

5 その他

(1) 次回協議会開催日時

(副会長) 次回は12月17日(水)午後2時30分からよろしいでしょうか。

～全員了承～

6 全体会閉会

7 分科会協議

～各分科会に分かれ協議。第1分科会 303会議室、第2分科会 301会議室、

～各分科会ごとに閉会